



技術開発の取組について

近畿中国森林管理局では、国有林野事業技術開発実施要綱に基づき、技術開発の計画体系、実施体制、技術開発成果の普及指導方法について定め、技術開発課題（10 課題）と技術開発自主課題（15 課題）に取り組んでいます。

主な取組として、技術開発基本目標「森林・林業の再生に資する造林・保育・生産技術の確立」等を踏まえ、「伐採・植付一貫作業下でのコンテナ苗等の活着・生育実証」として岡山署管内に試験地を設定し、森林総合研究所関西支所と共同でコンテナ苗等の植栽功程、季節別の活着状況、成長量の調査を行っており、得られた成果については、現地検討会で情報提供するなど、民有林関係者へのコンテナ苗の普及・定着に努めています。

なお、本年度から新規課題として「ヒノキエリートツリーの生育実証試験」に林木育種センター関西育種場と連携して、従来品種より成長が早いエリートツリー品種について、下刈りの省力化の検証をはじめ、施業体系の確立などに取り組んでいます。

また、再造林の低コスト化に向けては、「植栽本数密度による林分構造変化及び材質試験」として、広島署管内の新元重山国有林で、林分調査、材質強度調査、細り調査等を実施しています。当局では、この植栽本数密度別試験地の調査研究の成果も踏まえて、平成15年度より管内の標準的な植栽本数を概ね2,000本/haとしています。

今後も森林の公益的機能の発揮に対する国民の要請に対応しつつ、民有林経営への普及を念頭に置いた林業の低コスト化等に向けた技術開発に、産官学連携の下で取り組んでいきます。



【三光山国有林 現地検討会の様子】

近畿中国森林管理局技術開発課題一覧

平成28年12月

課 題 名	目 的	森林管理署等	国有林林小班	面積	開発期間
育成・採集・輸送技術の開発（最良な苗木生産システムの確立）	公益的機能が恒常的に発揮しつつ、地方の維持増進や保育の省力化等、その効果を十分発揮させるための植栽・輸送技術の確立と普及に努める。	森林技術・支援センター	三室704わ外	8.31	S63～H65
列状間伐試験における林況変化と経営的評価試験	高性純林業種による間伐を推進するため、列状間伐の実施による林況の変化及びその分析等による経営的評価を行う。	森林技術・支援センター 森林総研関西支所	水島山803か 入間山5895外	1.63 36.00	H3～H32
植栽本数密度別の林分構造変化試験	植栽本数による林分構造変化の比較検討を行い、低コスト化に向けた森林施業技術の確立を図る。	森林技術・支援センター	釜谷598ふ	0.83	H11～H42
樹皮採取試験	樹皮採取に伴う林木への影響を調査し、樹皮供給体制の確立を図る。	京都大府西支所 森林総研関西支所	鞍馬山4お	0.11	H12～H32
樹皮採取試験	樹皮採取に伴う林木への影響を調査し、樹皮供給体制の確立を図る。	山口所 京都大学	城山8151	0.09	H12～H32
植栽本数密度による林分構造変化及び材質試験	植栽本数密度による林分構造変化の比較検討、材質への影響を低コスト化に向けた森林施業技術の確立を図る。	広島署 森林総研関西支所	新元重山755ろ、ち2	5.63	H14～H44
天然生広葉樹を適用した低コストな針広混交林造成技術の開発	管外跡地に自生する広葉樹を適用して、ヒノキ植栽本数密度の低減を図る。また、有用広葉樹について建築材等が採材可能な技術を確認する。	森林技術・支援センター	古谷 527へ	1.69	H19～H28
低コスト跡地管理後の維持管理に係るモニタリング調査	低コスト跡地（集材跡）が最小限のメンテナンスコストで持続的に利用することを目的として、既存の構造物等の耐久性等の状況について、次回間伐までモニタリングを実施する。	森林技術・支援センター	古谷527い1外	62.89	H22～H31
伐採・植付一貫作業下でのコンテナ苗等の活着・生育実証	・コンテナ苗等の植栽功程、活着状況、生長量の調査 ・調査結果を踏まえた造林トータルコストの削減率を目標とする植栽技術の確立 ・広域的な植栽功程調査や活着状況を踏まえて、コンテナ苗等の造林手法の改良を推進 ・成果の公表、コンテナ苗等の特性、立地条件等を踏まえた民有林経営への普及	森林技術・支援センター 森林管理署、所 森林総研関西支所 民間事業者	三光山、三室外	1.67	H24～H28
ヒノキエリートツリー（実生コンテナ苗）の生育実証試験	ヒノキのエリートツリー品種と第1世代精英樹品種との成長を比較する現地実証試験を行う。これにより、下刈りコスト低減の可能性を検討し、施業体系を確立する。	森林技術・支援センター 森林総研関西支所 関西育種場	三光山、三室	0.80	H28～H32

ニュース

「平成28年度近畿中国森林管理局保護林管理委員会」を開催

【計画保全部 計画課】 10月26日（水）、局大会議室において、平成28年度近畿中国森林管理局保護林管理委員会を開催しました。

この委員会は、当森林管理局管内における保護林の設定、変更、廃止、管理及びモニタリング等に関する事項並びに保護林に関連する生物多様性の保全（緑の回廊を含む。）について検討するため、専門家等の意見を求めることを目的としています。

具体的には、平成27年度保護林モニタリング調査の検討結果、保護林制度の改正に伴い平成28年度に新たな区分に移行させる保護林、道路建設等に伴う保護林の一部解除などについて説明し、科学的知見を踏まえた意見を頂きました。

今後、保護林の保護・管理に当たっては、委員から頂いた意見等を踏まえつつ適切に行っていくこととします。

なお、委員会の議事概要については、局ホームページで公表しています。



体験林業を実施しました！！

【滋賀森林管理署】 10月29日（土）、大津市上田上の六ヶ山国有林で連合滋賀青年委員会主催の体験林業を実施しました。連合滋賀青年委員会は、社会貢献活動の一環として森林保全ボランティアに取り組んでおり、滋賀森林管理署管内の国有林での活動は今年が5回目になります。当日は、ときおり氷雨が降るあいにくの空模様でしたが、14名の参加をいただき歩道の草刈りや除伐



等の作業を行いました。

午前中は、歩道の草刈りと枝打ちを行いました。最初に大津首席森林官から枝打ち、除伐の効果について解説した後、作業の手順や

下刈鎌、手鋸の使い方を説明しました。特に、前日からの雨で足場が悪い中での作業となるため、作業時の体勢や足場の確保の大切さを実演を交えて説明し、安全作業の徹底を全員で共有して作業にのぞみました。参加者の方は初めて触れる長柄の鎌に最初は戸惑った様子でしたが、すぐに慣れて作業地までの歩道がすっきり刈払われました。

午後からは除伐作業ということで造林木の生長を妨げる広葉樹や劣勢木の伐採を行いました。手鋸を使っての作業で受け口、追い口を作るのは難しいのですが、少しずつ慎重に鋸をいれて上手に伐採していました。

伐倒した木はある程度の長さにそろえて等高線方向に並べて整理しました。参加者には林業関係の方はいないとのことでしたが、作業の手際も良く曇天の下でも実感できるほど林内が明るくなりました。

参加者の方からは「木を伐るのは初めてだがとても

楽しかった」「林内が明るくなってやりがいを感じる」といった感想のほか、「また来年も参加したい！」との声もいただき、有意義な体験となったようです。また来年もぜひよろしくお願いします！



鳥取自然休養林クリーン作戦

【鳥取森林管理署】 10月25日（火）に、市民の憩い（きゆうしゅうざん）の場である鳥取自然休養林（旧 城 山 国有林）においてクリーン作戦を実施しました。

今年は鳥取県が9、10月に設定する「鳥取県環境美化促進月間」の最終週にあたる10月25日から31日を「鳥取自然休養林クリーン週間」と設定し、その初日の作業としてクリーン作戦を実施しました。

クリーン作戦には久松山・鳥取自然休養林管理運営協議会の会員である鳥取市、久松山を考える会、林野庁の退職者で組織する鳥取県OF会と鳥取森林管理署職員あわせて36名が参加し、2時間程度の作業で路面の落葉や側溝の土砂の除去と保安林管理道沿いに設置された休憩所と看板の清掃を行いました。

クリーン作戦は毎年実施していますが、1年間で溜まった土砂等を掘りあげるのはなかなかの重労働で肌寒い天気の中、皆さん汗を流しながらの作業となりました。

また、休憩所の周辺からは意外に多くのゴミが回収され、汚れが目立っていた看板もきれいになり見やすくなりました。

なお、クリーン週間の期間中には、関係者が巡視活動を行い、歩道や看板の点検も実施しました。

今後も関係者と連携を図りながら、鳥取自然休養林を一層活用していただけるよう環境美化と普及啓発を進めていきます。



敦賀市立中央小学校森林教室

【福井森林管理署】 11月10日（木）に、敦賀市立中央小学校で森林教室を行いました。5年生の児童のうち8名が、郷土の自然や歴史、文化を知る学習の一環として敦賀市にある名勝気比の松原（松原国有林）と森林・林業について勉強しました。

まず、森林・林業について、事前に寄せられた質問を森林官がパワーポイントで説明しました。「1本の木には何枚の葉が付いているの?」といった素朴な質問から「家を建てる時にどの種類の木を使うの?」といった専門的な質問がありました。また、山の役割（森林の多面的機能）についてや、森林を守るために必要なことについて鋭い質問がありました。

気比の松原については、松原を構成するマツの種類、松原のこれまでの歴史、これから松原を守り続けていくための活動についてクイズを交えながら説明しました。児童たちは、知らないことも沢山あったようで驚きの声飛び交い、難しい話もありましたが熱心にノートを取っていました。最後の質問の時間には、多くの質問があり関心の高さを感じました。

気比の松原にある最も大きな木を体感してもらうために、幹周りと同じ長さの輪に児童8名が入ったのですが、あまりの大きさに驚いていました。このように、体験等を多く取り入れることで児童たちに気比の松原と森林・林業について楽しく理解してもらえたと思います。

森林教室を受けた児童たちは11月26日（土）に敦賀市立中央小学校で行われた「中央フェスティバル」で今回学んだことをとりまとめて、保護者や地域の方々に発表しました。

このように、児童たちが郷土に残る自然や森林・林業に関心を持つことにより、共にこれからの森林のことを考えていくパートナーへと成長してくれることを願っています。



お知らせ

子ども出張森林教室 ～クイズに答えて森のはかせになろう～

近畿中国森林管理局では、都市近郊にお住まいの皆さまを中心に、普段なじみの薄い国有林や森林・林業、木材について理解を深めていただくため、森林ふれあい推進事業を実施しています。

このたび、OAP プラザで開催される「キッズクリスマスパーティー」に、「子ども出張森林教室」を出展することとしました。山の素材を使ったクラフト体験もご用意していますので、この機会にぜひご家族で遊びにお越しください。

＊ イベント名 キッズクリスマスパーティー

＊ 日時 12月23日（金曜日・祝日）11時～17時

＊ 場所 OAP タワー 2 階 上島珈琲店前広場

＊ 内容 ステージイベント・クリスマス縁日・クリスマスワークショップ（ここに出展します。）

＊ 出展内容

～クイズに答えて森のはかせになろう～

- ・時間 キッズクリスマスパーティーに準じる（クラフト体験最終受付は 16 時となります。）
- ・森林や林業、木材についてのクイズにチャレンジしてくれた方に、山の素材を使ったクラフト体験コーナーをご用意しています。
- ・参加費は無料です。
- ・申し込みは不要ですが、材料がなくなり次第終了となります。ご了承ください。
- ・イベント自体の詳細は、OAP プラザ公式サイトでご確認ください。

＊ 出展内容についてのお問い合わせ

近畿中国森林管理局 森林整備部技術普及課
担当：緑の普及係

TEL050-3160-6753

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/fukyuka_event/161223.html

『「山の日」制定記念分収造林』 の公募について

「国有林でああなたの森林づくり」

『「山の日」制定記念分収造林』について

近畿中国森林管理局では、「山の日」の意義である「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」の趣旨を踏まえ、全国の国有林野において、国民の方々が豊かな自然環境に接しながら、自ら自然を造成する“ふれあいの森林づくり”を進めております。

これまでも国有林野を利用した森林造成によって、村や町の振興、緑化意識の普及、学校教育、林業の振興等に大きな役割を果たしてきましたが、近年ますます高まってきた、国民の緑に対する関心に応えるとともに、「山の日」制定を記念して分収造林として、国有林を提供することにしました。

提供する国有林は、岡山県内の国有林で募集口数は 1 口、面積は 2.96 ヘクタールです。

”ふれあいの森林づくり”は、国が、国有林に木を植え育てる希望者を募集し、造林者を決めて契約します。造林者は、国有林に自ら木を植え、育て、造林木が成林し伐採した際の収益を、国と分けあう制度です。

造林者は、分収造林地の育成に支障のない範囲で、森林浴などのための施設を作ることができ、自分の造林地内の山菜・きのこ・木の実などを自由に採取できます。

＊ 契約期間 樹種によって異なりますが、一般的にはスギが 50 年～60 年、ヒノキが 55 年～65 年程度です。ただし、最も長い契約期間は 80 年となります。

＊ 募集締切 12 月 22 日（木曜日）

＊ 契約相手方の条件

個人団体を問いません。ただし、長期の契約となるので、造林・保育等の義務履行が確実に認められる方に限ります。

＊ その他 詳細は、ホームページをご確認ください。

＊ お問い合わせ

近畿中国森林管理局 森林整備部 森林整備課
担当：分収林係 TEL050-3160-6793

岡山森林管理署

担当：総務グループ TEL：050-3160-6135

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/seibi/20161205_bunzo_koubo.html

平成 29 年度 「国有林モニター」の募集について

林野庁近畿中国森林管理局では、国有林を開かれた「国民の森林」とするよう取り組んでおり、その一環として、国有林の事業運営等について、国民の皆さまの理解を深めるとともに、ご意見やご要望をお聞きして国有林野行政に反映させるため「国有林モニター事業」を実施しているところです。

この度、平成 29 年度「国有林モニター」を募集いたしますので、多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

* 募集人員 80 名程度

* 依頼期間 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月(1 年間)

* 依頼内容

1. 国有林野に関するアンケートへの回答
2. 国有林野の管理経営についてのご意見・ご要望等の提出
3. モニター会議へのご出席（希望者より抽選）

* 応募資格

近畿中国森林管理局管内（石川、福井、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口）の各府県に在住し、森林・林業・国有林に関心のある満 16 歳以上の方。ただし、次の方は除きます。
(国会及び地方議会の議員、常勤の国家公務員、地方公共団体の長、平成 26 年度から 3 年間連続してモニターとなられた方。)

* 応募方法

郵便・FAX・ホームページ・E-mail のいずれかの方法で、以下必要事項を記入の上、下記近畿中国森林管理局国有林モニター担当までご応募ください。
氏名（ふりがな）、〒住所、性別、年齢（平成 29 年 4 月 1 日現在）、職業、電話番号、メールアドレス（ございましたら）、モニター募集をお知りになったきっかけ（具体的にお願い致します。）、モニターに応募された理由（200 字程度）

* 募集期限 平成 29 年 1 月 20 日（金）当日必着

* その他

- ・選定結果については、平成 29 年 3 月中にお知らせ致します。
- ・選定結果に対する個別のお問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・国有林モニター様には、ささやかではありますが記念品を進呈しています。

* 応募先・問い合わせ先

〒530-0042 大阪市北区天満橋 1 丁目 8 番 75 号
近畿中国森林管理局 企画調整課国有林モニター担当
TEL：06-6881-3406 FAX：06-6881-3415
E-mail：kc_kikaku@maff.go.jp
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kikaku/monitor/29_boshu.html

近畿中国森林管理局 ホームページがリニューアル！

近畿中国森林管理局ホームページがこの度、リニューアルいたしました！

今回のリニューアルでは、スマートフォンやタブレットでも見やすいように縦スクロールタイプに自動変換されます。

充実したコンテンツにしていきたいと思っておりますので、これからも近畿中国森林管理局ホームページをよりよくお願い致します。

森林のギャラリー(局庁舎1階)

【12 月のテーマ：木づかい】

12/5 ～ 12/28 国産早生樹

【(公社)日本木材加工技術協会関西支部 早生樹林材研究会】

【1 月のテーマ：自由展示】

1/ 7 ～ 1/13 新春書展

【竹扇会 (2)】

花 草 木

今月の花草木は「柿」です。

柿は、日本や中国など東アジア原産の固有種で、カキノキ科の落葉樹です。

柿の品種は 1,000 種近くあると言われ、日本全国で収穫されています。日本に古くから親しまれている柿には、大きく分けると甘柿と渋柿に分けられます。数多い柿の品種の中で、甘柿の種類は非常に少なく、20 種類足らずしかないようです。

木材としては、材は緻密で堅く、家具や茶道具、桶や和傘などの材料として利用されるそうです。

柿は、堅い木ですが枝が突然折れる性質があり、古くから柿の木に登る行為は危険とされています。

シリーズ『国有林 最前線!』

森林整備部 資源活用課



作業道開設

①丸太を集めるため道を造ります。



チェーンソー伐倒

②木を伐ります。



グラップル集材

③伐った木を道際へ運び出します。



プロセッサ造材

④長さをそろえます。



フォワーダ運材

⑤造った道を使って運びます。



トラック運搬

⑦トラックで町へ運びます。



山土場集積

⑥トラックが入れる広場へ集めます。

資源活用課では、公益重視の管理経営として、森林・林業再生への貢献や地球温暖化防止対策への取組として森林整備を進めています。

効率的な木材生産への取組

日本の森林・林業の現状は森林の蓄積が人工林を中心に毎年増加し、総蓄積は約49億 m^3 になっています。

また、毎年、日本の木材需要量に相当する8千万 m^3 の蓄積が成長により増加しています。

資源活用課では、森林整備によって伐採された国有林材を活用し、国内の需要に対応しています。

木材の伐採搬出には地域の条件に応じた低コスト化を図るため、高効率な作業システムを構築する必要があります。このため、「路網の整備」、「高性能林業機械の導入」等の合理的な組み合わせにより、生産性の向上を目指しています。

広島北部森林管理署 三次森林事務所 首席森林官 市原 広一郎

私が勤務する三次森林事務所は、広島県の中心からやや北東寄りの三次市中心部に位置し、近くを流れる江ノ川の支流・馬洗川では、初夏の6月から9月までのシーズン、観光鶏飼いが街を賑わせています。

当事務所の管轄区域は3市に亘り、国有林野25団地4,632haと官行造林地7団地551haを有し、北は島根県に隣接しています。本年度は下刈、除伐、つる切、保育間伐を中心とした森林整備を行ったところであり、健全な林分の育成に努めております。

近年、農林業における鳥獣被害は全国的な問題となっておりますが、林業においてはシカ被害の抑制が防除の課題となっております。

※ 三次部内においては、南部の旧・向原森林事務所部内がシカの生息が多い地域となっており、新植地ではシカ防護柵やツリーシェルターを設置するなど、様々な対策を講じております。

シカ被害対策については国、県、市町村、民間の連携による対応が必要であることから、去る10月5日から7日の3日間、「平成28年度農林水産省鳥獣被害対策基盤支援事業」による「地域リーダー（森林）技術取得（総合）コース広島研修会「鳥獣被害対策コーディネーター育成研修及び地域リーダー（森林）育成研修」」が行われました。10月6日、この研修会における現地検討のフィールドとして、安芸高田市津々良山国有林のツリーシェルター及びシカ防護柵の設置箇所等を提供し、現状での防護方法の効果や今後どのような対策を講じる必要があるか等の検討が行われました。



【津々良山国有林】ツリーシェルター設置状況

現地検討においては、シカ防護柵の裾網の効果的な幅の確保、ツリーシェルター設置後の維持管理の程度、シェルター（筒）をとった直後の食害への危険等々、活発な意見交換が行われました。

今回の現地検討を踏まえ、今後の鳥獣害対策に活かして参りたいと考えています。

※ ツリーシェルター：シカやウサギの食害から苗木を保護するため、苗木に被せる筒状の固いプラスチックの製品。

※ 防護柵の「裾網」：防護柵裾の外側に、更に90cm程度の高さのネットを斜めに張り、柵への接近や飛び込みを防止する。